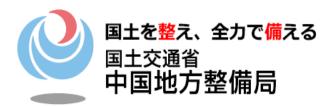
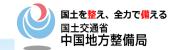
河川改修事業の進捗について

令和6年10月23日 国土交通省 中国地方整備局



1. 千代川の流域及び河川の概要



■千代川は鳥取市中心部を流れており、下流地域は経済や文化の中心地となっている。又、河口右岸には鳥取砂丘が広がり県内最大規模の観 光地となっている。山地に取り囲まれた中央に鳥取平野が位置し、水はけが悪く、内水被害が発生しやすい地形。

■千代川流域の降雨量は約2,000mmで、本川沿いでは少なく三方の山地部で多い。

流域及び氾濫域の諸元

流域而積 : 1. 190km² 幹川流路延長 : 52km

: 約20万人 流域内人口

想定氾濫区域面積 : 64km² 想定氾濫区域内人口 : 約9.4万人 想定氾濫区域内資産額:約1.0兆円

関係市町村(1市3町):鳥取市、 智頭町、八頭町、若桜町

※資産額比率 (一般資産額 等合計值)

区分	比率 (資産)
下流域	66%
中流域	31%
上流域	3%



降雨特性

■中国地方の中でも多雨地域



(平成13年~平成27年データに基づき作成)

主な洪水被害と既定計画

大正12年9月洪水	台風	約5,700m³/s	215mm/2∃	破損・浸水:11,097戸	
昭和9年9月洪水	室戸台風	約3,200m³/s	199mm/2日	破損・浸水:9,005戸	
昭和34年9月洪水	伊勢湾台風	約2,500m³/s	207mm/2∃	破損・浸水: 5,555戸	
昭和36年9月洪水	第2室戸台風	約2,700m³/s	180mm/2∃	破損・浸水: 722戸	
昭和40年9月洪水	台風23号	約2,500m³/s	215mm/2∃	破損・浸水: 943戸	
昭和41年3月:工事実施	昭和41年3月:工事実施基本計画の策定 計画流量:4,700m³/s(基本高水のピーク流量:4,700m³/s)				
昭和54年10月洪水	台風20号	約4,300m³/s	285mm/2∃	破損・浸水: 1,355戸	
昭和59年3月:工事実施	- 恒基本計画の改定 計画	「流量:5,500m ³ /	s(基本高水の	Dピーク流量: 6,300m³/s)	
平成10年10月洪水	台風10号	約3,600m³/s	165mm/2∃	破損・浸水: 201戸	
平成16年9月洪水	台風21号	約3,200m³/s	202mm/2∃	破損・浸水: 99戸	
平成23年9月洪水	台風12号	約2,100m3/s	274mm/2∃	破損・浸水: 175戸	
平成29年9月洪水	台風18号	約2,900m3/s	176mm/2日	破損・浸水: 99戸	
平成29年10月洪水	台風21号	約2,100m3/s	218mm/2日	破損・浸水: 11戸	
平成30年7月洪水	梅雨前線	約3,700m3/s	372mm/2日	破損・浸水: 64戸	
平成18年4月:河川整備基本方針の策定 計画流量:5,700m³/s (基本高水のピーク流量:6,300m³/s)					
平成19年5月:河川整備計画の策定 計画流量:4,200m³/s(殿ダム調節前:4,300m³/s)					
令和4年12月:河川整備計画の変更 計画流量:4,900m³/s (殿ダム調節前:5,100m³/s)					
令和5年8月洪水	台風7号	約2,500m3/s	318mm/2日	(暫定)	



鳥取市東町(鳥取県庁前)

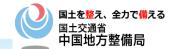


鳥取市用瀬地区の増水状況

これまでの治水事業

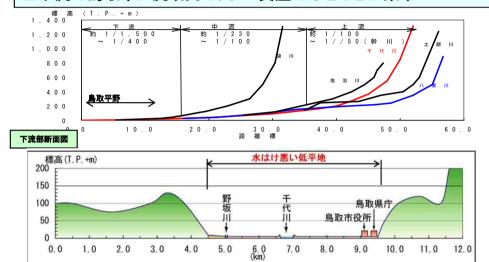


1. 千代川の流域及び河川の概要



地形特性

- ■千代川本川の河床勾配は下流で比較的緩やか
- ■山地に取り囲まれた中央に鳥取平野が位置し、水はけが悪く内水 被害が発生しやすい地形
- ■下流の鳥取市に流域内の人口・資産のほとんどが集中



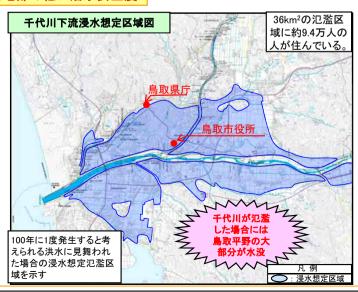


流域の資産・人口が集中する鳥取市街地部の低い治水安全度

- ■千代川下流の低平地には 鳥取県東部の中心である鳥 取市街地を形成
- ■特に千代川と新袋川に囲まれた地域は行政、商業の中心地となっており、洪水に対する安全度を高めることが重要



・戦後最大洪水に対しては整備が概ね完了。・今後は気候変動の影響により降雨量が1.1倍程度増大した場合の目標流量に対して下流部から整備を実施





2. 千代川における河川整備計画



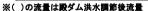
- 河川整備計画(H19.5)は、戦後最大洪水である昭和54年10月洪水と同規模の洪水が発生しても計画高水位以下で安全に流すことを 目標としている。
- 変更整備計画では、昭和54年10月洪水の降雨量が1.1倍程度に増大した場合でも、洪水氾濫による浸水被害の防止が図られること を目標としている。

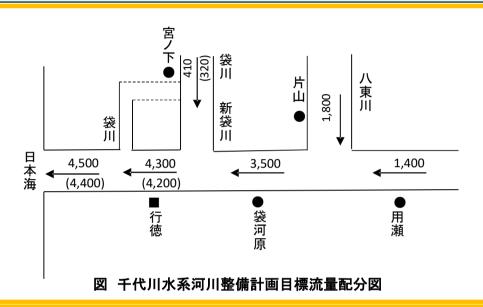
河川整備計画(平成19年5月策定)の概要

- ◆対象期間:概ね20年
- |◆洪水による災害発生の防止および軽減に関しては、『人々が笑顔で安全に暮らせる 川づくり』を目指すため、戦後最大洪水である昭和54年10月洪水と同規模の洪水が 発生しても計画高水位以下で安全に流すことを目標としている。

表 基準地点および主要な地点の目標流量

27 1 1 1 1 1 1 1				
河ル名	地点名	位置	目標流量 (m³/s)	備考
	行徳	鳥取市古海地先(千代川:約5.1k)	4,300(4,200)	基準地点
千代川 袋河原		鳥取市河原町袋河原地先(千代川:約15.0k)	3,500	
	用瀬	鳥取市用練町用瀬地先(千代川:約24.5k)	1,400	
新袋川・袋川	宮ノ下	鳥取市国府町宮ノ下地先(袋川:約5.7k)	410(320)	
八東川	片山	鳥取市河原町今在家地先(八東川:約1.0k)	1,800	





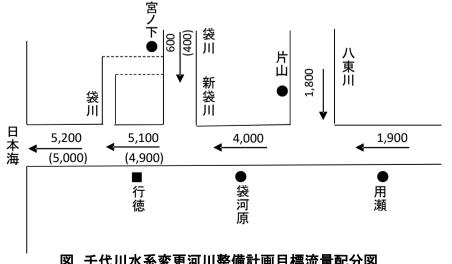
変更整備計画の概要

- ◆対象期間:概ね20年
- ◆本計画において目指す治水安全度の水準は、現行整備計画の目標である昭和54年 10月洪水の降雨量が1.1倍程度に増大した場合でも、洪水氾濫による浸水被害の防 止が図られるよう、基準地点行徳において5,100m3/s(年超過確率1/50規模)を目標 流量とします。

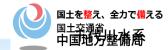
このうち、河道に配分する流量は4.900m3/sとし、既設の殿ダムで200m3/s調節する ことで、洪水氾濫による浸水被害の防止を図ります。

表 基準地点および主要な地点の目標流量

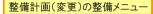
河阳	地点名	位置	目標流量 (m²/s)	備考
	行徳	鳥取市古海地先(千代川:約5.1k)	5,100(4,900)	基準地点
千代川	袋河原	鳥取市河原町袋河原地先(千代川:約15.0k)	4,000	
	用瀬	鳥取市用瀬町用瀬地先(千代川:約24.5k)	1,900	
新袋川・袋川	宮/下	鳥取市国府町宮ノ下地先(袋川:約5.7k)	600(400)	
八東川	片山	鳥取市河原町今在家地先(八東川:約1.0k)	1,800	

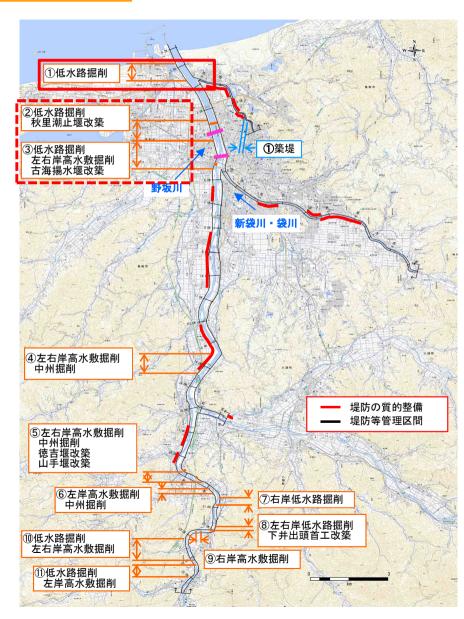


2. 千代川における河川整備計画



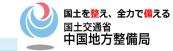
■ 変更河川整備計画メニューは、昭和54年10月洪水の降雨量が1.1倍程度に増大した場合の対応として、低水路・中州・高水敷掘削に加え、秋里潮止堰等の改築を実施する。

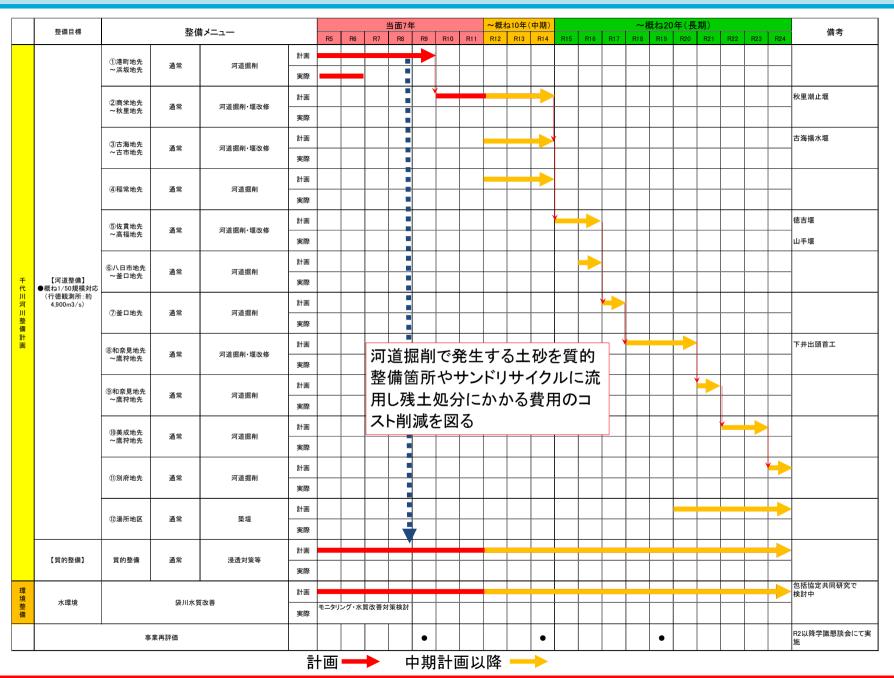




No.	No.	地先名	区間	備考
堤防の整備	1	湯所地先	袋川左岸3.2k~ 3.46k	築堤
	1	港町地先 浜坂地先	千代川0. 9k~1. 7k	低水路掘削
	2	商栄地先 秋里地先	千代川3. 5k~4. 3k	低水路掘削、秋里潮止堰改築
	3	古海地先 古市地先	千代川4. 3k~5. 5k	低水路掘削、左右岸高水敷掘 削、 古海揚水堰改築
	4	稲常地先	千代川13.5k~ 14.5k	左右岸高水敷掘削、中州掘削
デ 河道掘削 及び 堰改築	5	佐貫地先 高福地先	千代川18.9k~ 19.7k	左右岸高水敷掘削、中州掘削、 徳吉堰改築、山手堰改築
	6	八日市地先 釜口地先	千代川20. 1k~ 20. 5k	左岸高水敷掘削、中州掘削
	7	釜口地先	千代川20.8k~ 21.1k	右岸低水路掘削
	8	和奈見地先 鷹狩地先	千代川21.9k~ 22.3k	左右岸低水路掘削、 下井出頭首工改築
	9	和奈見地先 鷹狩地先	千代川22. 5k~ 22. 7k	右岸高水敷掘削
	10	美成地先 鷹狩地先	千代川23. 3k~ 24. 3k	低水路掘削、左右岸高水敷掘 削
	11)	別府地先	千代川24. 5k~ 25. 1k	低水路掘削、左岸高水敷掘削
堤防補強 (浸透対策)	1	全川	質的整備の必要箇 所	堤防の質的整備

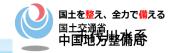
2. 千代川における河川整備計画

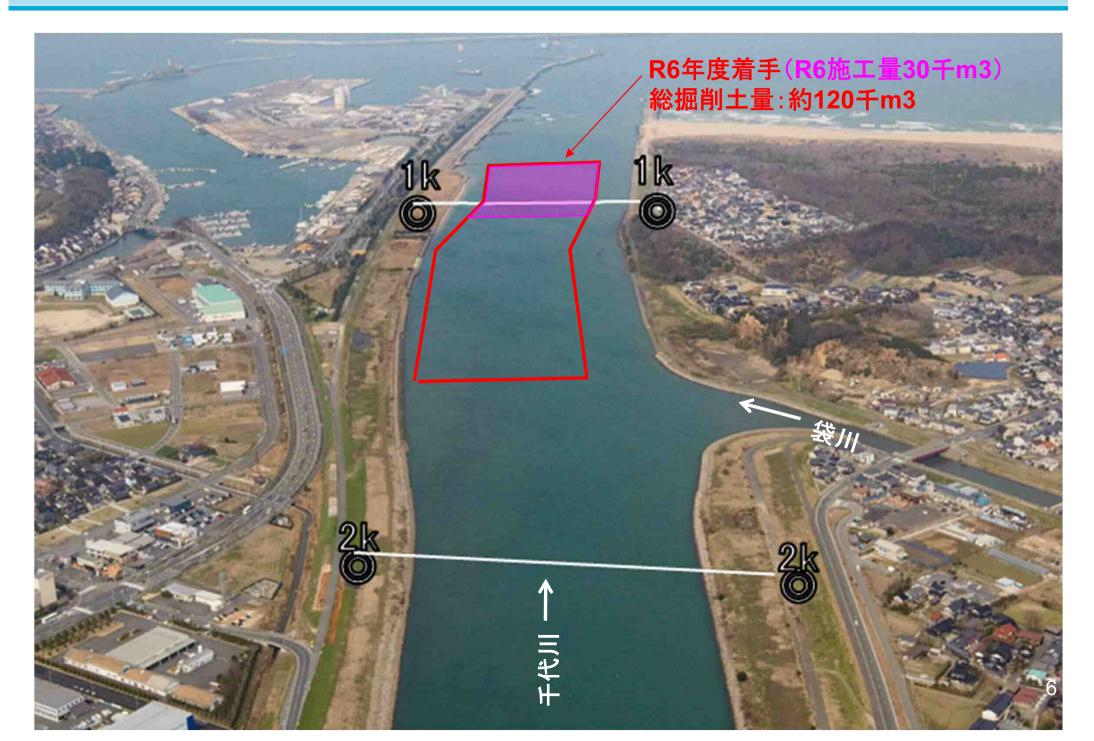




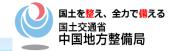
令和4年12月に変更した河川整備計画に基づき、昭和54年10月洪水の降雨量が1.1倍程度に増大した場合でも、洪水氾濫による⁵ 浸水被害を防止する対応として、低水路・中州・高水敷掘削に加え、秋里潮止堰等の改築を実施する。

3. 河道掘削(港町地区・浜坂地区)





3. 河道掘削(港町地区・浜坂地区)



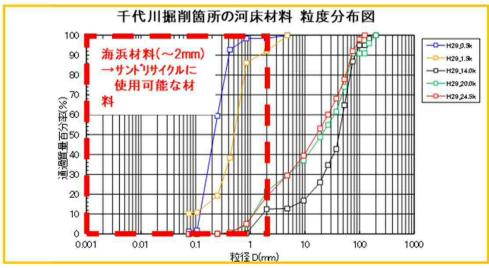
施工状況



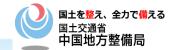


残土は鳥取砂丘等へサンドリサイクル





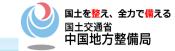
4. 秋里潮止堰·古海揚水堰改築事業



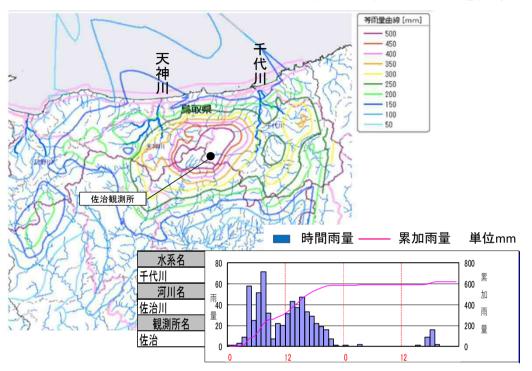
■気候変動を踏まえた変更整備計画目標流量の安全な流下のため、流下阻害となる秋里堰潮止堰及び古海揚水堰の統合を踏まえた改築を検討



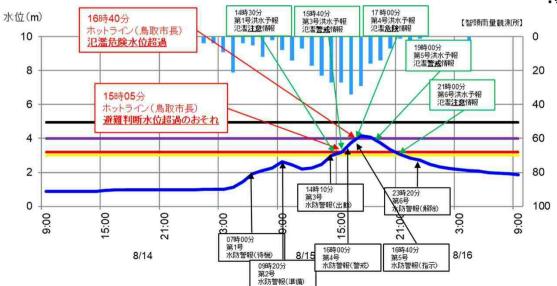
5. 令和5年8月15日の台風7号の対応



- ■等雨量線図(統一河川情報システム レーダ雨量より)
- ・佐治観測所(国)において日雨量(8月15日)が観測史上最大の585mmを記録



■水位の上昇に合わせて、洪水予警報及びホットライン等を遅れることなく実施

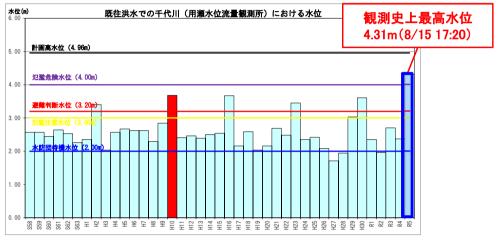


■千代川水系千代川(用瀬水位観測所付近)

8月15日 18時頃







■災害復旧支援

・令和5年8月の台風7号による被害のあった地域に照明車(2台)を派遣

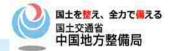


鳥取市佐治町尾際 (国道482号)



鳥取市河内 (県道281号)

6. 河川改修による治水効果



- 千代川流域では、令和5年8月14日未明から15日未明にかけて大雨となり、<u>智頭(ちず)雨量観測所では2日雨量が318mmと、平成10年10</u>月台風被害の雨量を超過する記録的な雨量を観測。
- 「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」および「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」で河道掘削や固定堰改築を実施してきたことで23k200(鳥取市用瀬町美成地先)付近において約0.8mの水位低減効果を発揮。
- 今回の出水では、平成10年10月出水を超える雨量であったが、

 これまでの治水事業により浸水被害を大幅に軽減した。





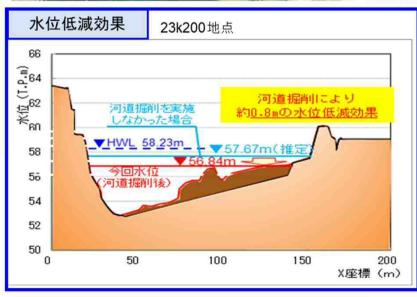


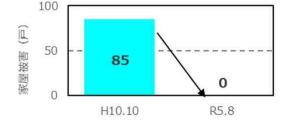


400

200

2日雨量(mm)





153

H10.10

智頭雨量観測所

318

R5.8

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

